

令和 4 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

福岡県

行事名称	朝日寺火災防ぎょ訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和5年1月22日（日） 9:30～10:15
実施場所	朝日寺本堂（福岡県久留米市大善寺町夜明1095）
主催者	朝日寺、久留米消防署、久留米市消防団（第23・24分団）、久留米市文化財保護課

■実施内容

訓練の想定

朝日寺本堂内で線香が倒れ、本堂内から火災が発生したと想定。本堂には福岡県指定有形文化財の木造神子栄尊坐像が安置されている他、本堂の南30mには久留米市指定有形文化財の仏像3体が安置されている観音堂があり、観音堂に延焼する恐れがあると想定して訓練を実施。

訓練の内容

朝日寺住職による火災発見および通報、役員による初期消火と、文化財（模擬）の搬出、参拝者の避難誘導訓練、消防署および消防団による放水訓練を実施。その後、朝日寺役員および一般の見学者を含めて水消火器による消火訓練も実施。

参加者及び役割分担

朝日寺関係者（10名）：119番通報、初期消火、重要物品の搬出、参拝者の避難誘導

久留米市市消防団（20名）：放水訓練

久留米市消防署（5名）：全体統括、放水訓練、講評

久留米市文化財保護課（4名）：現場立会い、参拝者の避難誘導、交通整理

特に工夫した点

朝日寺では20年ぶりの防火訓練であり、事前説明の段階から役員に集まっていた。

近隣住民および校区内に事前告知をしたことから、一般見学者も20名程度集まったため、消火器の訓練に参加していただいた。

マスコミにも周知したことで、当日はテレビ局1社、新聞社1社の取材があった。

問題点・課題

文化財に限れば、仏像本体が大きいので、実際の火災で避難させることができるのが最大の課題。そのため、役員を含めて日頃からの防災に対する意識付けと、住職からは線香を深く差したり、横に寝かせたりするなど、火災の原因となる状況を少しでも回避することを心掛けたいという言葉もあった。

その他

久留米市では46回目となる防ぎょ訓練で、継続することにより、文化財所有者や地元消防団の文化財愛護意識の高揚と、防災意識の必要性を確認する機会となっている。

訓練風景



放水訓練状況



水消火器訓練状況